

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月31日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

4日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岡山県	代表者名	岡山県知事伊原木隆太
担当者部署	危機管理課	連絡先電話番号	086-226-7294
担当者役職	副参事	担当者氏名	大西昌晴
		連絡先E-mail	
住所	700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	波平 三雄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	岡山県高度防災情報ネットワークに係る基本設計について、基本設計を進めるに当たり、重視すべき点、ポイントなどのアドバイスを依頼したところ、いろいろな事例を踏まえながら、最新技術の動向と知見により的確な助言をいただき、今後の方向性を決めるうえで、参考となるどころが多く大変有意義な会議となった。
アドバイザーへの要望事項	波平アドバイザーには昨年度の基本構想から県の施策に助言をいただいております、本年度も継続してアドバイスいただけることに感謝している。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年8月18日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	12時00分	0
				活動時間（分）	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員、企業	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	前回アドバイスを受けた内容に基づき、作成した高度防災情報ネットワーク整備に係る基本計画（素案）について、計画の主旨、防災情報ネットワークの課題、基本方針、期待される効果、概算事業費、事業実施スケジュール等のとりまとめ方について	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	基本計画の策定	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	計画の主旨、ネットワークの現状と課題、整備計画の基本方針、期待される効果等について、他県の事例なども踏まえて指南していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	基本計画のまとめ方、論点整理など	

(具体的にご記入下さい)		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 該当しない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	基本計画の策定	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。

なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

The screenshot shows a PDF document titled '基本計画 (案) .pdf' in Adobe Acrobat Reader. The document content is as follows:

3 具体的計画

(1) 老朽化した機器の適切な更新による機能維持

耐用年数を経過し、老朽化した機器を更新する。なお、更新に当たっては、技術の進展等を考慮し、本県の通信ネットワークに最適な機器を選定する。

更新概要()は法定耐用年数

- ①多重無線装置(10年)・・・無線中継局を介して県庁と県民局、地域事務所、市町村、防災関係機関を結ぶ無線通信装置。一度に多くの情報伝送が可能。
- ②一斉指令システム(4~6年)・・・ネットワーク全体の統制を行い、気象情報や防災情報を一斉に伝達するサーバや端末装置。
- ③映像処理システム(10年)・・・防災ヘリコプターや災害対策本部会議の映像を収集、配信する処理サーバ等。平時は国の会議等の視聴で利用。
- ④電話交換システム(6年)・・・県、県民局、市町村等を結ぶ防災無線電話の交換装置。平時は行政事務に活用。
- ⑤震度情報システム(5~10年)・・・気象庁へ震度情報を配信するサーバや市町村等に設置した地震計。

The video conference window on the right shows three participants: 岡山県危機管理課, 三浦 波平, and EBC 橋本.

